





2018年12月19日

各位

会社名 株式会社アルファ
 代表者名 代表取締役社長 川名 祥之
 (コード番号：3434 東証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 斉藤 雄一
 (TEL：045-787-8401)

お客様にさらなる利便性と快適さを提供する当社商品ラインナップ ～再配達問題の解消、手ぶら観光サポートの実現に向けて～

当社グループは、eコマースの拡大に伴う宅配便の不在再配達への対策と、多様化するライフスタイルに対する新たな受け取り場所の提供による利用者の利便性向上のため、更なる利用可能場所の拡大を目指し取り組んでおります。今回は、昨今社会問題になっている配送会社による宅配物の再配達増加に伴う問題を解決する商品をまとめましたのでお知らせいたします。

	宅配便等の荷物受け取り製品ラインナップ						荷物預り
受取り場所	アパート	戸建	マンション	オフィス 工場	駅	商業施設	ホテル
商品群	宅配ボックス				コインロッカー		
対応商品	ed-CUBE (イーディーキューブ) <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">NEW</div> 		留守配ション IEB シリーズ 		宅配機能付きロッカー AIT ロッカー 		AIS ロッカー (QRコード対応) <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">NEW</div> 
販促先	アパートメーカー ハウスメーカー 管理会社	ドアメーカー エクステリアメー カー ハウスメーカー	マンション デベロッパー	代理店	鉄道会社	代理店	ホテル

◆戸建・賃貸住宅向け宅配ボックス「ed-CUBE」

非接触 IC カードや暗証番号を宅配ボックスの鍵として使用することができ、一般のメカ式宅配ボックスと違い高いセキュリティが確保できる製品です。宅配ボックスを玄関先に設置すれば、不在時でも指定時間を気にすることなく配達物が受け取れ、通販等も利用しやすくなります。突然の訪問で手が離せない時や夜間の受け渡し対策としても有効です。また、本製品は水が侵入しにくい防雨仕様（第三者機関による IP X 4 防雨型の認定取得）となっており設置場所を限定しません。

・設置事例



設置例： 横浜市の戸建て住宅
単独設置



設置先： 福岡県の集合住宅
1列2段×2セット
大手ハウスメーカー施工



◆マンション・オフィス向け宅配ボックス「留守配ステーション」

標準仕様として居住者用/従業員用カードは専用の非接触 IC カードを採用しました。受信部にカードをかざすだけで認証が完了しますので操作がとても簡単で、しかも磁気カードに比べ耐久性、信頼性にも優れています。また、暗証番号による認証も可能です。なお、マンション向け仕様ではマンション向けトータル認証の WAY PLUS に対応しております。エントランスドアや住戸玄関と同じ方法で認証が可能です。



◆IC カード対応コインロッカー「AIT ロッカー」

現在、鉄道駅に設置している IC カード対応コインロッカーについて、一部の鉄道駅で一部の宅配業者の荷物を受け取る機能を追加しました。この機能は、既設のコインロッカーに専用プログラムと通信機器を追加搭載することで対応が可能となるため、新規に専用の宅配ロッカーを導入することなく、受け取り場所を短時間で拡大することが可能になります。また本製品は鉄道駅に限らず、商業施設等への設置も可能です。



◆ホテル向け対応手荷物預かりロッカー「AIS ロッカー」

本製品は相鉄グループの株式会社相鉄ホテルマネジメント様（本社：神奈川県横浜市、取締役社長：吉田 修）が運営する「相鉄フレッサイン 日本橋茅場町」（東京都中央区）のセルフクロークロッカーとして採用されました。ホテル管理システム（PMS）と連携させて運用するロッカーで、相鉄フレッサインのアプリ会員証の QR コード、またはフロントで発行した QR コードを読み取り部にかざして利用することができます。PMS の宿泊情報をもとに利用可能とされた方のみ、ホテル側が決めた利用期間内に限り利用頂けることで、ロッカーご利用者の利便性を高めながら、非宿泊者の利用を防止することができます。



当社グループは引き続き、様々な商品で培ったノウハウを基に、多様化するライフスタイルに対応した製品開発に取り組んでまいります。

以上